

令和5年度

5歳児保護者より「子どもが友達から髪の毛を抜かれると帰宅後に言っている。誰がしているのかわからないので、先生に伝えていない。面と向かって意地悪をされた場合は言えるが、後ろからされるのではっきりせず、陰湿であると思う。日頃から自分達で解決するようにと言われているようだが、この年齢では難しいのではないか。大人が正しいこととそうでないことをしっかり知らせてほしい。」とのこと。園長、担任、本園リーダーで話を聞く。園長がそのような状況であることに気がついていないことに謝罪し、今後の対策として、集団時の座る位置を後ろにし、担任以外の保育士が子ども達の後ろから見ようにすること、情報共有して朝の受け入れ時も配慮するように伝えた。

翌日、本児の様子を伝え、今後家庭で何かされたらと本児が保護者に言った際は、保育園にも伝えてほしいとの旨を母に伝えたところ、昨日の対応では納得いかないとのこと。また職員間の情報共有ができていないことの指摘があったため、再度、園長と話し、まずは不信感を抱かせたことについて謝罪した。園側としても申し出後に園長、担任、本園リーダーと状況を確認、本児の不安をどのようにしたら拭えるのかを話し合った旨を伝え、家庭で本児からその旨の話があった翌日に園へ伝えてもらいたいこと、担任からクラスの集まりの中で具体的に、また担任以外の職員が立ち会った上で「後ろから人の髪の毛を抜くことはいけないこと」を子ども達に話し、話をしたことを保護者に伝える旨を約束した。

翌日、園長同席のもと、担任から子ども達に「髪の毛を後ろから抜くことはいけないことだ」と伝え、その事実を降園時に保護者に伝えた。またミーティングにて情報共有し、朝の時間、様子を見るように共同理解をした。

毎日、保育園での様子を伝えるようにし、職員会議でこの事案について話し合いをした。